

安全データシート
ジョーカルLP

作成日2016年 5月19日
改定日2012年10月 1日
2016年 5月19日
2024年 6月 1日

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード: ○○○
会社名: 日本濠化化学株式会社
住所: 東京都港区虎ノ門3丁目2番地2号 30森ビル
電話番号: 03-3459-0051
緊急時の電話番号: 03-3459-0051
FAX番号: 03-3459-0081
メールアドレス:
推奨用途及び使用上の制限: 排水管洗浄剤

販売
三笠産業株式会社
〒340-0043 埼玉県草加市草加5-6-10
TEL 048(941)8215 FAX 048(943)4897

2. 危険有害性の要約

GHS分類:
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分2(呼吸器)

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



危険有害性情報: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
呼吸器の障害のおそれ

注意書き:

【安全対策】

ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

漏出物を回収すること。

【保管】

強酸、金属、発火しやすい物質から離して冷暗所にて保管。

【廃棄】

内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号	CAS番号
水酸化ナトリウム	5.0%	化審法、安衛法(1)-410	1310-73-2
塩化ベンザルコニウム	0.1%以下	(3)-2694	8001-54-5
その他界面活性剤			

4. 応急措置

吸入した場合:	直ちに患者を毛布等で包み、新鮮な空気が得られる場所に移し安静にさせ、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合:	直ちに付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。汚染された衣類や靴等は速やかに脱がせ、速やかに医師の診察を受ける。
眼に入った場合: 飲み込んだ場合:	直ちに多量の水を用いて15分以上洗浄する。洗浄の際は大量の水を飲ませ、速やかに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤:	水噴霧、粉末、泡消火器、不燃性ガス等。
消火方法:	苛性ソーダ自体は不燃性であり、助燃性もない。火災を増大させる危険性があるものをし、周囲から速やかに取り除く。消火作業は安全な距離を確保し、風上から行う。棒状の水を噴射するものは、飛沫を周囲に飛散させる恐れがあるから注意する。容器周辺の火災の場合には、速やかに容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は、容器およびその周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護:	「8. 暴露防止及び保護措置」の項に記載の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	風下の人を避難させる。漏洩した場所の周囲にはロープを張るか、または付近に警告を発するなどして人の出入りを禁止する。必要に応じて保健所、消防機関、警察署へ通報する。苛性ソーダは極めて腐食性が強いので、漏洩した箇所の修理、その他の作業をする場合は、「8. 暴露防止及び保護措置」の項に記載の保護具を着用して行う。風下で作業しない。
環境に対する注意事項:	すべての生体に大きい影響を及ぼすので、漏出した苛性ソーダを未処理のまま河川等、自然界へ流出させないようにする。また河川、海域等へ流入することによって公害問題を起こす恐れがあるから注意する。
除去方法(少量):	漏洩した液は砂等不燃性の吸着剤に吸着させて取り除くか、ある程度水で徐々に希釈した後、希硫酸等で中和し、多量の水で洗い流す。
除去方法(多量):	漏洩した液は土砂等でその流出をとめ、これに吸着させるかまたは安全な場所に導き、濃厚な液が河川等に流れ込まないようにしてから、遠くから徐々に注水して希釈した後、希硫酸等で中和し、多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

アルミ、すず、亜鉛、クロム等の金属を腐食して水素ガスを発生し、これが空気と混合して引火爆発することがある。

作業は「8. 暴露防止及び保護措置」の項に記載の保護具を着用して行う。

作業場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保管：

強酸、金属、発火しやすい物質から離して貯蔵する。

漏洩しても地中に浸透しないよう床は耐アルカリ材で施行し、また外部に流出しないよう流出防止施設を設ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：

設定されていない

許容濃度：

日本産業衛生学会(2002年版) ミスト2mg/m³ (上限値)

設備対策：

ACGIH(2002年版) TLV-STEL ミスト2mg/m³ (上限値)
漏洩した苛性ソーダが外部に流出しない施設(耐アルカリ床材、防液堤)

保護具：

呼吸用保護具	空気呼吸器等を使用する。
保護眼鏡	ゴーグル型
保護手袋	ゴム手袋
保護衣	保護衣、ゴム長靴、ゴム前掛け

9. 物理的及び化学的性質

外観等：

常温では無色又は灰色がかった無臭の液体で、濃度、温度に寄り固化することがある。

pH：

14以上

比重：

1.055(5% 20℃)

沸点：

108℃(20%)

氷点：

-3℃(10%)

引火点：

不燃

溶解性：

水に自由に溶ける。

10. 危険性情報

安定性：

通常の取り扱いでは安定である。

反応性：

水で希釈すると希釈熱を発生する。

避けるべき条件：

データなし

避けるべき物質：

アルミ、すず、亜鉛、クロム等の金属。

危険有害分解生成物：

データなし

11. 有害性情報

皮膚腐食性：

強アルカリで、強い腐食性を示す。

刺激性：

皮膚に触れると激しい痛みと薬傷を起こす。眼に入ると失明することがある。

急性毒性：

経口投与	ウサギ	LD ₅₀	500mg/kg
------	-----	------------------	----------

	マウス	LD ₅₀	40mg/kg
--	-----	------------------	---------

局所効果：

皮膚刺激性	ウサギ	500mg/24H	激しい刺激効果
-------	-----	-----------	---------

眼刺激性	ウサギ	50 µg/24H	激しい刺激効果
------	-----	-----------	---------

亜急性毒性：

データなし

慢性毒性：

データなし

がん原性：

データなし

変種原性：

染色体異常 ハムスター(生体外) ; 陽性

催奇形性：

データなし

12. 環境影響情報

残留性/分解性：

情報なし

生体蓄積性：

情報なし

生体毒性/魚毒性：

Gambusia	TLm 96Hr	125ppm
----------	----------	--------

Blue gills	TLm 48Hr	42ppm
------------	----------	-------

Gambusia affinis	TLm 24Hr	125ppm
------------------	----------	--------

Lepomis macrochirus	TLm 96Hr	9.9ppm
---------------------	----------	--------

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物: そのまま廃棄せず、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係法規・法令を順守し適正に処理するか、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、処理を依頼する。
廃棄の方法: 水を加えて希薄な水溶液とし、酸(希硫酸等)で中和し多量の水で希釈する。
汚染容器: 容器等の廃棄物は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物作業を行うときは必要に応じて保護具を着用する。
廃棄作業:

14. 輸送上の注意

輸送の安全対策: 他の物質との混載はなるべく避ける。
国連分類: クラス8(腐食性物質) 国連番号: 1824、1759
国内規則: 陸上輸送「15. 適用法令」の毒劇法、道路法の項参照。
 海上輸送「15. 適用法令」の毒劇法、港則法、船舶安全法、海洋汚染防止法の項参照。
 航空輸送「15. 適用法令」の毒劇法、航空法の項参照。

15. 適用法令

毒物劇物取締法: 濃度5%以下のため該当しない
労働安全衛生法: 施行令第18条の2「名称等を通ずべき有害物」規則第326条「腐食性液体」
海洋汚染防止法: 施行令別表第1「有害液体物質」(D類物質)
航空法: 施行規則第194条 危険物告示 別表第1「腐食性物質」
港則法: 施行規則第12条 危険物告示「腐食性物質」
船舶安全法: 危規則第2, 3条 危険物告示別表第3「腐食性物質」
水質汚濁防止法: 施行令第3条「水素イオン濃度等の項目」
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
食品衛生法: 施行規則第3条 健康を害う虞のない化学的合成品

PRTR法: 該当しない

16. その他の情報

引用文献

毒劇物基準関係通知集	薬務公報社
危険物・毒物取り扱いマニュアル	海外技術資料研究所
苛性ソーダ輸送設備取り扱いマニュアル	日本ソーダ工業会
化学便覧応用編	日本化学会編
14303の化学商品	化学興業日報社
魚類と水中生物に及ぼす化学品の毒性データ	インダストリアルデータセンター

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

災害事例
 情報なし

中毒した時の緊急連絡先
 (財)日本中毒情報センター

中毒情報センター 中毒110番(大阪)
 072-727-2499(終日)

中毒情報センター 中毒110番(つくば)
 029-852-9999(9~21時)